Linux
：グリッドノードを新しいホストに移行します
StorageGRID

NetApp
April 10, 2024

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/storagegrid-116/maintain/linux-exporting-node-from-source-host.html on April 10, 2024. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

Linux ：グリッドノードを新しいホストに移行します 1
Linux ：ソースホストからノードをエクスポートします 1
Linux ：ターゲットホストでノードをインポートします 2
Linux ：移行済みノードを開始します 3

Linux ：グリッドノードを新しいホストに移行します

ホストのメンテナンス（ OS パッチの適用やリブートなど）を実行するために、グリッドの機能や可用性に影響を及ぼすことなく、 Linux ホスト間で StorageGRID ノードを移行できます。

1 つまたは複数のノードを 1 つの Linux ホスト (「ソースホスト」) から別の Linux ホスト (「ターゲットホスト」) に移行します。ターゲットホストで StorageGRID を使用する準備をしておく必要があります。

> この手順 は、 StorageGRID 環境で移行をサポートするように計画した場合にのみ使用できます。

グリッドノードを新しいホストに移行するには、次の両方の条件が満たされている必要があります。

- 共有ストレージは、すべてのノード単位のストレージボリュームに使用されます
- ネットワークインターフェイスの名前がホスト間で一貫している

> 本番環境では、 1 つのホストで複数のストレージノードを実行しないでください。各ストレージノードに専用のホストを使用すると、分離された障害ドメインが提供されます。

管理ノードやゲートウェイノードなど、他のタイプのノードは、同じホストに導入することができます。ただし、同じタイプのノードが複数ある（たとえば、 2 つのゲートウェイノード）場合は、すべてのインスタンスを同じホストにインストールしないでください。

詳細については、お使いの Linux オペレーティングシステム用の StorageGRID インストール手順の「ノード移行の要件」を参照してください。

関連情報

新しい Linux ホストを導入する

Red Hat Enterprise Linux または CentOS をインストールします

Ubuntu または Debian をインストールします

Linux ：ソースホストからノードをエクスポートします

グリッドノードをシャットダウンして、ソースの Linux ホストからエクスポートします。

ソースの Linux ホストで次のコマンドを実行します。

1. ソースホストで現在実行されているすべてのノードのステータスを取得します。

```
sudo storagegrid node status all
```

Name Config - State Run-State

「 DC1-ADM1 は実行されています」

「 DC1-ARC1 configured RUNNING 」

DC1-GW1 が実行されています

「 DC1-S1 が実行されています」

DC1-S2 が設定されています

DC1-S3 が実行されています

2. 移行するノードの名前を特定し、その Run-State が「 running 」の場合は停止します。

```
sudo storagegrid node stop DC1-S3
```

ノード DC1-S3 を停止しています

「ノードのシャットダウンを最大 630 秒待機しています」というメッセージが表示されます

3. ソースホストからノードをエクスポートします。

```
sudo storagegrid node export DC1-S3
```

ノード DC1-S3 の /dev/mapper/sgws-dc1-s3-var-local.` へのエクスポートが完了しました

StorageGRID node import /dev/mapper/sgws -dc1 -s3 – var-local を使用する場合は 'use ' を使用します

「もう一度インポートしたいですね。

4. 「 export 」コマンドの出力に表示される「 import 」コマンドをメモします。

次の手順で、このコマンドをターゲットホストで実行します。

Linux ：ターゲットホストでノードをインポートします

ソースホストからノードをエクスポートしたら、ターゲット Linux ホストにノードをインポートして検証します。検証では、ソースホストと同じブロックストレージおよびネットワークインターフェイスデバイスにノードがアクセスできるかどうかを確認します。

ターゲット Linux ホストで次のコマンドを実行します。

1. ターゲットホストにノードをインポートします。

```
sudo storagegrid node import /dev/mapper/sgws-dc1-s3-var-local
```

/dev/mapper/sgws-dc1-s3-var-local.` からノード DC1-S3 のインポートが完了しました

「 StorageGRID node validate DC1-S3 」を実行する必要があります

2. 新しいホストでノード構成を検証します。

```
sudo storagegrid node validate DC1-S3
```

ノード DC1-S3 の存在を確認しています … パス +`

「 + ノード DC1-S3 の構成ファイル /etc/storagegrid/nodes/DC1-S3.conf を確認しています … 」 パス +`

+ 一意の値の重複をチェックしています … パス +`

3. 検証エラーが発生した場合は、移行したノードを開始する前に対処してください。

トラブルシューティングの情報については、使用している Linux オペレーティングシステムでの StorageGRID のインストール手順を参照してください。

関連情報

Red Hat Enterprise Linux または CentOS をインストールします

Ubuntu または Debian をインストールします

Linux ：移行済みノードを開始します

移行済みノードの検証が完了したら、ターゲット Linux ホストでコマンドを実行して、ノードを開始します。

手順

1. 新しいホストでノードを開始します。

```
sudo storagegrid node start DC1-S3
Starting node DC1-S3
```

2. Grid Manager で、ノードのステータスが緑色であり、そのノードに対するアラームが発生していないことを確認します。

> ノードのステータスが緑色の場合、移行済みノードは完全に再起動してグリッドに再参加しています。ステータスが緑色でない場合は、複数のノードがサービス停止の状態にならないようにするために、追加のノードを移行しないでください。

Grid Manager にアクセスできない場合は、 10 分待ってから次のコマンドを実行します。

「 sudo StorageGRID node status ***node-name***` 」

移行したノードの Run-State が「 running 」であることを確認します。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。